

计 钢 编著

新编 日语 简明 教程

· 下 册 ·


外教社

计 钢 编著

新编日语 简明教程

· 下册 ·



外教社

上海外语教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

新编日语简明教程. 下册/计钢编著. —上海: 上海外语教育出版社, 2000

ISBN 7-81046-790-5

I. 新... II. 计... III. 日语-教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2000)第 14568 号

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机), 65422031 (发行部)

电子邮箱: ljjb@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com> <http://www.sflep.com.cn>

责任编辑: 赵丽君

印 刷: 常熟市印刷八厂

经 销: 新华书店上海发行所

开 本: 850×1168 1/32 印张 6.125 字数 150 千字

版 次: 2000年 6 月第 1 版 2000年 6 月第 1 次印刷

印 数: 5 000 册

书 号: ISBN 7-81046-790-5/H · 665

定 价: 9.50 元

本版图书如有印装质量问题, 可向本社调换

致 读 者

《新编日语简明教程》是根据《大学日语(第二外语)教学大纲》的基本要求、并考虑到相当一部分大学的日语教学实际需求、在总结了大学日语教学实践经验的基础上编写而成的。

本教程由上、下两册组成,每册设计学时数为 72 学时,共计 144 学时,分两学期使用。

下册是在上册完成了基本语法教学的基础上,以阅读为主要目的编写的。下册共有 17 课课文,每课计划学时为 4 学时;另有机动学时 4 学时,可用作复习或机动安排。本教程配有音带。

本教程下册可作为大学日语二外教材,亦可作为中级日语阅读教材以及自修读本使用。本教程还可以作为日语专业低年级精读Ⅱ课程的教科书。下册具有如下特点。

- ▲ 考虑到二外学习的特殊性,提高词汇及句型的复现率。因此,上册中已出现过的部分单词及句型,在下册中仍加以注释,以利学习者在反复认读中轻松记忆。
- ▲ 适时小结归纳上册已学过的知识,以达到温故知新之目的;同时,适当补充新的知识点。
- ▲ 课文选材涉及文化、文学、评论、语言及典故等不同范畴,使学习者能较为全面地提高阅读能力。
- ▲ 练习以阅读理解为宗旨,以日汉互译为重点。因为理解和翻译实为同一事物的两种不同的体现形式,有着密不可分的内在联系。达意的翻译,一定是建立在理解基础之上的。

▲ 听力一直是日语二外学习者的弱点,也是交际的关键所在。为了使学习者“听说读写译”训练能同步进行,课后配有形式多样的听力训练。

听力训练素材全部选自日本国际交流基金会 1999 年专门为世界各国日语学习者编写的日语素材集《教科書を作ろう・れんしゅう編》。听力训练的录音制作亦得益于日本国际交流基金会提供的母带,语音纯正、清晰。倘若时间允许,亦可在听力训练的基础之上,以此为素材,举一反三,进行会话练习。

细心的读者也许会发现,选用《新编日语简明教程》,“事半功倍”不再仅仅是一种理想,学习者可以花较少的时间,学到更多的东西。何乐而不为呢?

计 钢

2000 年 5 月

目 录

第 一 課	日本の年中行事(一).....	1
	温故知新 日期的读法	
	听力训练 自己紹介	
第 二 課	日本の年中行事(二).....	11
	听力训练 わたしの学校	
第 三 課	日光	21
	小 常 识 数量词读法	
	听力训练 どんな店ですか	
第 四 課	敬語の分類と効用	30
	听力训练 田中さんの一日	
第 五 課	方言殺人事件	38
	温故知新 助动词「そうだ」	
	小 常 识 重箱読み・湯桶読み	
	听力训练 わたしの家族	
第 六 課	良薬は口に苦し	50
	听力训练 休みのこと	
第 七 課	過ちを再びせず	57
	文语点滴 「賢なるかな回や」	
	听力训练 誘いましょう	
第 八 課	新発明のマクラ	65
	小 常 识 终助词的性别要求	
	听力训练 旅行の思い出	

第 九 課	セメント樽の中の手紙(一)	78
	听力训练 うちから学校まで	
第 十 課	セメント樽の中の手紙(二)	89
	听力训练 アルバイト	
第十一課	マスコミュニケーション	101
	听力训练 もしもし	
第十二課	ホラ吹き	110
	听力训练 お大事に	
第十三課	十秒の空白	119
	听力训练 この人は誰ですか	
第十四課	ナポレオンと田虫(一)	127
	听力训练 日本の一年	
第十五課	ナポレオンと田虫(二)	139
	听力训练 有名なところ	
第十六課	サイコロの目	151
	听力训练 かさ地藏(一)	
第十七課	有難迷惑	159
	听力训练 かさ地藏(二)	
附 录	练习参考答案	169
	课文主要出处	187
	听力训练出处	187
	主要参考书目	187

第一課

日本の年中行事(一)

正 月

日本では、都会でも田舎でも正月を祝います。そして、所によって違いますが、門や出入口には松を飾ります。元日から三日までは「三箇日」といって、官庁も銀行も会社も休みです。

元日の朝はみんな「明けましておめでとうございます。」と挨拶して、お屠蘇を飲んで雑煮を食べます。お屠蘇は薬の入った酒で、雑煮は、所によって中に入れる物は違いますが、野菜の汁に餅の入ったものです。

テレビやラジオの放送局では、三箇日の間、特別番組を作って放送します。

元日の朝、年賀状が来ます。ふだんご無沙汰している知り合いや親類などの便りは本当に嬉しいものです。

午後にはご年始の人が来ます。たいてい「明けましておめでとうございます。昨年中はいろいろお世話様になりました。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。」などと挨拶します。

節 分

節分というのは季節の変わる時という意味で、一年に四回あ

ります。しかし普通節分と言え、冬から春にうつる時、すなわち立春の前の日を指します。この日の夕方から晩にかけて「福は内、鬼は外」と言いながら豆をまく習慣があります。

雛 祭

昔は五節句と言ってお祝いの日が一年に五日ありました。正月七日、三月三日、五月五日、七月七日、九月九日です。

三月三日は女の子のお祭りです。桃の節句とも言いますが、今のこよみでは桃はまだ咲きません。お雛様を段の上に飾って、友だちを呼んで白酒を飲んだり、お菓子を食べたりします。

鯉のぼり

五月五日は端午の節句と言ってお祝いの子の日です。戦後は「子供の日」となって、国民の祝日となりました。

男の子のある家では、家の中には、よろいやかぶと、また武者人形と言って、昔の侍の人形などを飾り、外には鯉幟を立てます。

鯉は急な流れをさかのぼる元気のいい魚とされていて、男の子が元気で大きくなるようにという願いから出たものです。

七 夕

七月七日は五節句の一つで、星を祭る日です。天の川の両岸にある二つの星が一年に一度この日に会うと言われています。千二百年も昔の奈良時代から行なわれ、徳川時代に民間に広まりました。このごろはあまり流行らなくなりましたが、ある地方では大々的にやります。庭に竹を立て、細長い紙に字や歌を

書いて竹の枝につけ、字や裁縫が上手になるように祈ります。

(日本言語文化研究所付属東京日本語学校・長沼現代日本語二 P.84～88より)

新 出 单 词

行事 ^① [ぎょうじ]	〈名〉	(民间)节日,活动
年中行事 ^⑤ [ねんちゅう～]		一年中的节日
正月 ^⑥ [しょうがつ]	〈名〉	正月,新年
都会 ^⑥ [とかい]	〈名〉	都市,大城市
田舎 ^⑥ [いなか]	〈名〉	乡下;故乡
門 ^⑥ [もん]	〈名〉	大门
出入口 ^⑥ [でいりぐち]	〈名〉	出入口
松 ^⑥ [まつ]	〈名〉	松树
飾る ^⑥ [かざる]	〈他五〉	装饰,摆设
元日 ^⑥ [がんにつ]	〈名〉	元旦
三箇日 ^⑥ [さんがにち]	〈名〉	正月头三天
官庁 ^⑥ [かんちょう]	〈名〉	政府机关
明けまして ^⑥ [あけまして]	〈词组〉	天明;过年
挨拶 ^⑥ [あいさつ]	〈名・自サ〉	问候;致辞
屠蘇 ^⑥ [とそ]	〈名〉	屠苏(酒)
雑煮 ^⑥ [ぞうに]	〈名〉	煮年糕,年糕汤
入れる ^⑥ [いれる]	〈他下一〉	放入
汁 ^⑥ [しる]	〈名〉	汤;汁儿
餅 ^⑥ [もち]	〈名〉	年糕,糯米团
放送 ^⑥ [ほうそう]	〈名・他サ〉	播放
放送局 ^⑥ [ほうそうきょく]		电台;电视台

特別 [㊦] [とくべつ]	〈名・形动〉	特別
番組 [㊦] [ばんぐみ]	〈名〉	(电台・电视台)节目
ふだん [㊦] [普断]	〈名・副〉	平素,平常
ご無沙汰 [㊦] [御ぶさた]	〈名・自サ〉	久疏问候,久违
知り合い [㊦] [しりあい]	〈名〉	熟人,相识
親類 [㊦] [しんるい]	〈名〉	亲戚,亲属
便り [㊦] [たより]	〈名〉	音信,(便)信
年始 [㊦] [ねんし]	〈名〉	一年之初;拜年
たいてい [㊦] [大抵]	〈名・副〉	大抵,大都
節分 [㊦] [せつぶん]	〈名〉	节分(泛指立春、立夏、立秋、立冬的前一天;特指立春的前一天)
意味 [㊦] [いみ]	〈名・他サ〉	意味,意思
普通 [㊦] [ふつう]	〈名・形动〉	普通;通常
うつる [㊦] [移る]	〈自五〉	移(动);传染
すなわち [㊦] [即ち]	〈接〉	即(是)
立春 [㊦] [りっしゅん]	〈名〉	立春
指す [㊦] [さす]	〈他五〉	指
夕方 [㊦] [ゆうがた]	〈名〉	傍晚
晩 [㊦] [ばん]	〈名〉	晚上
福 [㊦] [ふく]	〈名〉	福
鬼 [㊦] [おに]	〈名〉	鬼
豆 [㊦] [まめ]	〈名〉	豆子
まく [㊦] [撒く]	〈他五〉	(播)撒
雛 [㊦] [ひな]	〈名〉	雏鸟,雏鸡
祭り [㊦] [まつり]	〈名〉	祭日,庙会;(民间)节日
雛祭 [㊦] [ひなまつり]		女儿节
桃 [㊦] [もも]	〈名〉	桃
こよみ [㊦] [暦]	〈名〉	日历

段 ^① [だん]	〈名〉	段;台阶
白酒 ^② [しろざけ]	〈名〉	(女儿节饮用的)甜酒
鯉 ^③ [こい]	〈名〉	鲤鱼
鯉幟 ^④ [こいのぼり]		鲤鱼幡,鲤鱼旗
端午 ^⑤ [たんご]	〈名〉	端午(节)
戦後 ^⑥ [せんご]	〈名〉	战后,第二次世界大战后
国民 ^⑦ [こくみん]	〈名〉	国民
祝日 ^⑧ [しゅくじつ]	〈名〉	节日
よろい ^⑨ [鎧]	〈名〉	铠甲
かぶと ^⑩ [兜・冑]	〈名〉	盔
武者 ^⑪ [むしゃ]	〈名〉	武士
人形 ^⑫ [にんぎょう]	〈名〉	娃娃
侍 ^⑬ [さむらい]	〈名〉	武士
立てる ^⑭ [たてる]	〈他下一〉	立(起)
急 ^⑮ [きゅう]	〈名・形动〉	紧急;突然
流れ ^⑯ [ながら]	〈名〉	河流,水流
さかのぼる ^⑰ [溯る]	〈自五〉	逆流而上;追溯
七夕 ^⑱ [たなばた]	〈名〉	七夕
星 ^⑲ [ほし]	〈名〉	星
天の川 ^⑳ [あまのがわ]	〈名〉	天河
兩岸 ^㉑ [りょうがん・りょうぎし]	〈名〉	两岸
行なう ^㉒ [おこなう]	〈他五〉	实行,进行,举行
徳川時代 ^㉓ [とくがわじだい]	〈名〉	徳川幕府时代
民間 ^㉔ [みんかん]	〈名〉	民间
広がる ^㉕ [ひろがる]	〈自五〉	扩展;蔓延
流行る ^㉖ [はやる]	〈自五〉	流行
大々的 ^㉗ [だいだいてき]	〈形动〉	大规模(的);很大(的)
竹 ^㉘ [たけ]	〈名〉	竹子

細長い ^④ [ほそながい]	〈形〉	细长的
紙 ^② [かみ]	〈名〉	纸
字 ^① [じ]	〈名〉	字
枝 ^④ [えだ]	〈名〉	(树)枝
つける ^② [付ける]	〈他下一〉	附上,弄上
裁縫 ^④ [さいほう]	〈名〉	裁缝
祈る ^② [いのる]	〈他五〉	祈祷,祝愿

解 说

1. …によって…違う

意为“因…而异”、“因…不同,(而)…不同”。

- 所によって中に入れる物は違います。/放入其中的物品因地区而异。
- 人によって,レベルが違います。/水平因人而异。

2. 主格助词「の」

当主谓词组作定语时,主格助词「が」习惯上常常被换成「の」。

- お屠蘇は薬の入った酒です。/屠苏酒是掺入了(中)药的酒。
- 景色のいい所へ遊びに行くつもりです。/我打算去风景优美的地方旅游。

3. (时间体言)に

补格助词「に」接在表示时间的名词或数量词后,可表示单位时间,意为“每…”。

- 一年に四回あります。/每年有四次。
- 年に一度田舎に帰ります。/每年回一次乡下。

4. …から…にかけて

表示时空的大致范围,意为“从…到…(范围)”。

- この日の夕方から晩にかけて、豆をまく習慣があります。/有从这天的傍晚到夜间时分撒豆子的习俗。
- ここから虹橋にかけては開^{かい}発^{はつ}区^くです。/从这儿到虹桥一带是开发区。

5. まだ…ない

副词「まだ」常与否定式呼应,表示“还没…”、“还不…”。

- 桃はまだ咲きません。/桃花还没有开放。
- まだよく分かりませんね。/我还不大明白呢。

6. …を(自动词)

以「歩く」为中心词的、带有形形色色“走”之内涵的自动词所需的移动场所,要以「を」来表示。此时的「を」通常可译为“在”或“从”。

- 急な流れをさかのぼる。/逆急流而上(在湍急的河流中溯水而上)。
- 来年大学を出ます。/明年从大学毕业。

注:所谓“形形色色‘走’之内涵”,是指这类自动词都与某种形式的“走”相关。如:从内向外“走”,即为「出る/出来」;在天上“走”,即为「飛ぶ/飞」;从上向下“走”,即为「降りる/下来」;在水中“走”,即为「泳ぐ/游」等等,诸如此类。

7. …とされる

这是「とする」的被动形式,意为“被看作(是)…”、“被当作(是)…”。

- 鯉は急な流れをさかのぼる元気のいい魚とされています。/鲤鱼被视为能逆流而上、富有朝气的鱼。
- 富士山は日本のシンボルとされている。/富士山被视为日本的象征。

温 故 知 新

日 期 的 读 法

ついたち	ふつか	みっか	よっか	いつか	むいか	なのか
一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日
ようか	ここのか	とおか	じゅういちにち	じゅうよっか		
八日	九日	十日	十一日	…	十四日	
はつか	にじゅうよっか	さんじゅうにち	さんじゅういちにち			
… 二十日	… 二十四日	… 三十日	三十一日			

练 习

一、将所给动词变成适当的活用形,填入()内。

1. 日曜日ですから,テレビを()たり,本を()たり,
()たりするつもりです。[見る 読む 休む]
2. 日本に()たら,電話をください。[着く]
3. ()てみないと,分からないでしょう。[聞く]
4. あした,はやく()てくださいね。[来る]
5. 日本語を勉強()て,一年になりました。[する]
6. ちょっと()て。きっぷを()てきますから。[待つ
買う]

二、从表示场所的助词「に・で・を」中选出适当的,分别填入()内。

1. 机の上(),花が飾ってあります。
2. わたしたちは大学()勉強しています。

3. 毎日六時半に家()出て会社へ行きます。
4. 社長はよく犬をつれて公園()散歩します。
5. 小林さんは図書館()本を読んでいます。
6. よく見てから道()^{わた}渡ってください。

三、将下列句子译成日语。

1. 久疏问候,收到您的信真是高兴。
2. 在过去的一年中承蒙您多方关照,今年还望多加关照。
3. 请把花摆放在餐桌上。
4. 能力因人而异。
5. 据说每周有一场电影。(用「…と言われている」)

听力训练

自己紹介

看图听录音。并根据每个人的自我介绍,指出 A、B、C、D 各图中的人物为何人。



